

事業概要

(平成17年度のまとめ)

京都府立図書館

目 次

I 年次概要	1
1 平成17年度の主な動き	1
2 資料・利用	1
II 図書館資料	2
1 総資料数・年間収集資料数	2
2 図 書	2
(1) 資料数	
(2) 館内閲覧・個人貸出用図書の分類別数	
(3) AV資料・障害者用資料	
3 逐次刊行物	3
III 利用の状況	4
1 開館日数	4
2 入館者数	4
3 登録者数	4
4 個人貸出	4
(1) 貸出者数	
(2) 貸出図書数	
(3) 借受提供	
5 図書館等への貸出（一括貸出を除く。）	5
6 市町村への一括貸出	6
7 調査相談	6
8 対面朗読サービス	6
9 点字・音声資料貸出	7
10 マルチメディア利用	7
11 複写利用	7
12 館外からのホームページアクセス件数	7

IV	京都府図書館総合目録ネットワーク（K-Libnet）の状況（18年4月4日現在）	8
V	事業その他	9
1	連絡協力車の運行	9
	（1）搬送の内訳	
	（2）搬送コース	
2	図書館事業等	10
	（1）読書講演会の実施	
	（2）子ども読書活動の振興	
	（3）図書館・読書施設等職員研修の実施	
VI	組織及び職員数（18年4月1日現在）	10
VII	経費	11
VIII	施設の概要等	11
IX	沿革	12

I 年次概要

1 平成17年度の主な動き

京都府図書館総合目録ネットワーク（K-Libnet）は、府内27市町村が参加しており、参加館合計は47館で、蔵書データを提供するA参加館は34館となった。本年度はシステム更新を行い、従来からの検索機能に加え横断検索をスタートさせた。府内の公共図書館・読書施設間の相互貸借冊数は33,783冊となり、14年度の25,631冊、15年度の27,211冊、16年度の33,287冊を順調に上回り、相互協力システムが着実に発展している。

平成17年度の市町村合併により京丹波町、南丹市、与謝野町が誕生し、南丹市では、南丹市立中央図書館と3図書室となり、与謝野町では与謝野町立図書館と2分室となった。また、京北町が京都市と合併され、三和町、大江町、夜久野町は、福知山市と合併され福知山市立図書館中央館と4分館となった。

9月7日には、同志社大学今出川キャンパスにおいて、「図書館アップデートPARTII～レファレンスの極意～」をテーマに第14回京都図書館大会が開催され、午前中、同志社大学総合情報センター井上真琴氏から「レファレンスの極意」と題して基調講演があり、午後は、「レファレンスの技量アップに向けて」をテーマにシンポジウムが開催され、各館種からの報告と交流協議が行われた。

2 資料・利用

(1) 資料数

平成17年度中の資料収集は、購入図書、寄贈図書等を14,671冊受け入れ、蔵書数は807,742冊となった。

なお、図書以外に逐次刊行物が、246,865冊相当あり、総計の蔵書数は1,054,607冊である。

(2) 個人貸出

ア 当館直接貸出

個人貸出は、総数で延べ88,462人、196,421冊である。

イ 他館経由貸出

府内の市町村立図書館等への貸出（一括貸出を除く。）は15,653冊、他府県の公立図書館等への貸出は663冊であり、総数16,316冊である。

(3) 市町村への一括貸出

府内の図書館未設置町村を支援するための貸出は、長期貸出が32,000冊、貸出文庫が82,583冊であり、総計で114,583冊である。

II 図書館資料

1 総資料数・年間収集資料数

図書数807,742冊、逐次刊行物246,865冊(図書換算数)、総資料数1,054,607冊

年間収集資料数 図書・AV資料 14,671冊(点)

逐次刊行物 413タイトル(購入分のみ)

2 図書

(1) 資料数

(単位：冊)

区 分		17年度受入冊数				17年度末 図書数	うち 児童書
		購 入	寄 贈	その他	計		
館内閲覧・個人貸出用		9,359	2,526	115	12,000	666,286	46,385
市町村支援用	長期貸出					32,000	83,224
	貸出文庫	2,641	30		2,671	109,456	
	計	2,641	30		2,671	141,456	
合 計		12,000	2,556	115	14,671	807,742	129,609

(2) 館内閲覧・個人貸出用図書の分類別数

(単位：冊，%)

分 類	冊 数	百 分 比
0 総 記	26,883	4.0
1 哲 学	31,584	4.7
2 歴 史	63,125	9.5
3 社 会 科 学	130,329	19.6
4 自 然 科 学	37,548	5.6
5 技 術	42,825	6.4
6 産 業	31,871	4.8
7 芸 術	39,332	5.9
8 言 語	11,245	1.7
9 文 学	125,518	18.8
小 計	540,260	81.0
児 童 書	46,385	7.0
そ の 他	79,641	12.0
合 計	666,286	100.0

(3) AV資料・障害者用資料

AV資料

区 分	17年度末タイトル数(点数)
C D	559 (700)
C D - R O M	995 (1,118)
D V D	1,055 (1,055)
D V D - R O M	157 (157)
ビデオテープ	3,122 (3,133)
カセットテープ	881 (2,704)
マイクロフィルム	119 (6,920)
マイクロフィッシュ	3 (3,729)
計	6,891 (19,516)

障害者用資料

区 分	17年度末タイトル数(点数)	摘 要
大活字本	2,058 (2,058)	
点字図書	339 (1,453)	
デージー図書	207 (207)	
テープ図書	881 (2,704)	「AV資料」の「カセットテープ」の再掲

(注)「大活字本」以外は、(2)「館内閲覧・個人貸出用図書」の「その他」の内数

3 逐次刊行物

区 分	新 聞	雑 誌	計
年間購入タイトル数	14	399	413
既存受入タイトル数	88	9,619	9,707

III 利用の状況

- 1 開館日数 268日
- 2 入館者数 315,966人(1日平均1,179人)
- 3 登録者数 7,275人
 <累計54,948人(京都市内82.6%、その他地域8.5%、他府県8.9%)>
- 4 個人貸出(利用者登録した個人への貸出)
- (1) 貸出者数 延べ88,462人(1日平均330人)
- (2) 貸出図書数 196,421冊(1日平均733冊)
- (3) 借受提供(他の図書館等から資料を借り受けて利用者に提供)

(単位：冊)

借 受 先			借 受 冊 数
府 内	市町村図書館等(①)	K-Libnetによる借受け	1,827
		FAX版WANTEDによる借受け	53
		計	1,880
府 外	国立国会図書館(②)	85	
	他府県立図書館(③)	606	
	他府県内市町村立図書館等(④)	83	
	計	774	
合 計			2,654

(①) 市町村立図書館等の主な内訳

八幡市立八幡市民図書館(150)、亀岡市立図書館(141)、宇治市中央図書館(117)、精華町立図書館(115)、長岡京市立図書館(110)、京都学園大学図書館(90)、久御山町立図書館(82)、向日市立図書館(79)、福知山市立図書館夜久野分館(76)、井手町立図書館(75)、京田辺市立中央図書館(65)、木津町中央図書館(64)、宮津市立図書館(64)、舞鶴市立西図書館(60)、京丹後市立あみの図書館(59)、宇治田原町立図書館(57)、山城町立図書館(55)、舞鶴市立東図書館(53)、南丹市立中央図書館(51)、綾部市図書館(48)、南丹市八木図書室(45)、与謝野町立図書館(45)、加茂町立図書館(42)

(②) 国立国会図書館の内訳

東京本館(71)、関西館(2)、国際子ども図書館(12)

(3) 他府県立図書館の主な内訳

大阪(89)、愛知(50)、滋賀(33)、東京(28)、秋田(26)、岡山(24)、岐阜(23)、千葉(22)、神奈川(21)、宮城(20)、福井(20)、三重(19)、和歌山(18)、宮崎(18)、富山(16)、群馬(15)、長崎(14)、鹿児島(14)、埼玉(12)、山口(12)、長野(10)、兵庫(10)、北海道(9)、広島(9)、高知(9)、徳島(9)、福島(8)

(4) 他府県内市町村立図書館等の主な内訳

大阪市(23)、名古屋市(16)、堺市(9)、横浜市(5)、神戸市(3)、千葉市(3)

5 図書館等への貸出(一括貸出を除く。)

(単位：冊)

貸 出 先		貸出冊数	摘 要
府 内	市町村立図書館等(※)	13,673	28市町村他
	学校図書室	1,980	府立高校17校他
	計	15,653	
府 外	他府県公立図書館・大学	663	
合 計		16,316	

(※) 市町村立図書館等の内訳

(単位：冊, %)

地域区分	貸出冊数	百分比
京都市	947	6.9
乙訓地域	1,431	10.5
山城地域	4,363	31.9
南丹地域	2,043	15.0
中丹地域	2,322	17.0
丹後地域	2,521	18.4
府立総合資料館	27	0.2
その他	19	0.1
合 計	13,673	100.0

6 市町村への一括貸出

(単位：冊)

区 分	貸出冊数	摘 要
長期貸出(①)	32,000	図書館未設置5町村(すべて継続貸出)
貸出文庫(②)	82,583	
合 計	114,583	

(①) 長期貸出の内訳

(単位：冊)

市町村名	貸出冊数	市町村名	貸出冊数	市町村名	貸出冊数
大山崎町	6,000	笠置町	5,000	南山城村	5,000
京丹波町	11,000	伊根町	5,000		

(②) 貸出文庫の内訳

(単位：冊)

市町村名	貸出冊数	市町村名	貸出冊数	市町村名	貸出冊数
大山崎町	300	宇治市	124	城陽市	536
山城町	328	笠置町	200	南山城村	5,041
南丹市	17,274	福知山市	13,255	綾部市	1,703
舞鶴市	660	宮津市	1,500	与謝野町	16,000
伊根町	1,500	京丹後市	24,162		

7 調査相談

(単位：件)

区 分	相談件数	摘 要
所蔵調査	3,586	
調査相談	4,068	
マルチメディア相談	160	マルチメディア閲覧室関係で所蔵調査を含む。
市町村からの調査相談	102	
合 計	7,916	

8 対面朗読サービス

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延利用者数	8	6	7	8	4	4	4	5	6	6	5	6	69
実施時間	16	12	14	16	8	8	8	10	12	12	10	12	138

9 点字・音声資料貸出

(単位：点)

資料区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
テープ	7	11	15	19	12	4	2	6	0	0	0	0	76
C D	12	14	18	0	5	8	0	0	0	8	0	6	71
デイジー	0	18	19	19	17	16	5	7	13	15	16	10	155
合計	19	43	52	38	34	28	7	13	13	23	16	16	302

10 マルチメディア利用

(単位：人)

利用区分	年間利用者数	1日平均
インターネット端末	23,210	87
CD-ROM端末	972	4
AVブース利用	6,075	23
マイクロフィルム	750	3
合計	31,007	

11 複写利用

(単位：枚)

区分	利用枚数	摘要
図書資料	294,890	白黒293,445、カラー1,445
CD-ROM、外部DB	4,054	
貴重書DB	7	
マイクロフィルム	4,527	
合計	303,478	

12 館外からのホームページアクセス件数

250,170件

Ⅳ 京都府図書館総合目録ネットワーク (K-Libnet) の状況 (18年4月4日現在)

(単位：件)

A 参 加		B 参 加
参 加 館 (データ提供館)	デ ー タ 件 数	参 加 館 (データ検索館)
京都府立図書館	横断検索	大山崎町中央公民館図書室
京都府立総合資料館	横断検索	和束町体験交流センター図書室
向日市立図書館	125,226	笠置町中央公民館図書室
長岡京市立図書館	191,413	南山城村教育委員会図書室
宇治市中央図書館	288,594	京丹波町瑞穂支所瑞穂教育分室
城陽市立図書館	横断検索	京丹波町和知ふれあいセンター図書室
八幡市立八幡市民図書館	224,144	福知山市立図書館大江分館
京田辺市立中央図書館	267,954	京丹後市立図書館大宮図書室
久御山町立図書館	98,113	京丹後市立図書館弥栄図書室
井手町図書館	67,674	京丹後市立図書館丹後図書室
宇治田原町立図書館	61,278	京丹後市立図書館久美浜図書室
木津町中央図書館	108,224	伊根町教育委員会図書室
山城町立図書館	68,301	京都ライトハウス情報ステーション
精華町立図書館	120,171	
加茂町立図書館	58,343	
亀岡市立図書館	194,463	
南丹市立中央図書館	56,061	
南丹市八木図書室	28,203	
南丹市日吉図書室	42,984	
南丹市美山図書室	16,244	
京丹波町中央公民館図書室	20,728	
綾部市図書館	64,611	
福知山市立図書館中央館	72,814	
福知山市立図書館三和分館	12,866	
福知山市立図書館夜久野分館	26,012	
舞鶴市立東図書館	92,905	
舞鶴市立西図書館	77,942	
宮津市立図書館	103,828	
京丹後市立峰山図書館	53,182	
京丹後市立あみの図書館	44,262	
与謝野町立図書館	12,343	
与謝野町立図書館野田川分室	37,815	
与謝野町立図書館加悦分室	13,956	
京都学園大学図書館	289,959	
34 館		13 館

V 事業その他

1 連絡協力車の運行

府内の各図書館・読書施設との資料の相互貸借、情報交換、技術指導・助言、資料の収集を行うため、次の5コースにより28市町村、40施設へ毎週1回、合計240回の運行を実施した。また、毎月1回、府立図書館職員が連絡協力車に同乗し、運営相談等に応じた。

(1) 搬送の内訳

(単位：冊)

区 分	搬 送 冊 数
府立図書館と市町村との間の搬送	15,553
市町村と市町村との間の搬送	18,230
寄贈図書の搬送	406
合 計	34,189

(2) 搬送コース

コース名	順 路
A コース	京都府立図書館→亀岡市立図書館→南丹市八木図書室→南丹市立中央図書館 →京丹波町中央公民館図書室→南丹市日吉図書室→南丹市美山図書室 →京都ライトハウス情報ステーション→京都府立総合資料館→京都府立図書館
B コース	京都府立図書館→八幡市立八幡市民図書館→京田辺市立中央図書館 →精華町立図書館→木津町中央図書館→加茂町立図書館→和束町体験交流センター →南山城村教育委員会→笠置町中央公民館→京都府立図書館
C コース	京都府立図書館→宇治市中央図書館→宇治田原町立図書館→井手町図書館 →山城町立図書館→城陽市立図書館→久御山町立図書館→大山崎町立中央公民館 →長岡京市立図書館→向日市立図書館→京都市中央図書館→京都府立図書館
D コース	京都府立図書館→綾部市図書館→舞鶴市立西図書館→福知山市立図書館大江分館 →福知山市立図書館中央館→福知山市立図書館三和分館→京都府立図書館
E コース	京都府立図書館→与謝野町立図書館加悦分室→与謝野町立図書館野田川分室 →宮津市立図書館→与謝野町立図書館→伊根町本庄地区公民館 →京丹後市立峰山図書館→福知山市立図書館夜久野分館 →京丹波町和知ふれあいセンター→京丹波町瑞穂教育分室→京都府立図書館

2 図書館事業等

(1) 読書講演会の実施

府民の生涯学習を推進するため、12月9日に「樋口一葉の大いなる魅力」と題して講演会を開催し、約80名の府民の参加を得た。「一葉語録」で樋口一葉の言葉を日記、手紙、小説から原文と現代語訳で紹介した同志社大学大学院教授の佐伯順子氏が、様々な作品を通して一葉の人間性を紐解き、魅力あふれる一葉像を現代に蘇らせる講演であり、参加者は興味深く聞き入っていた。

(2) 子ども読書活動の振興

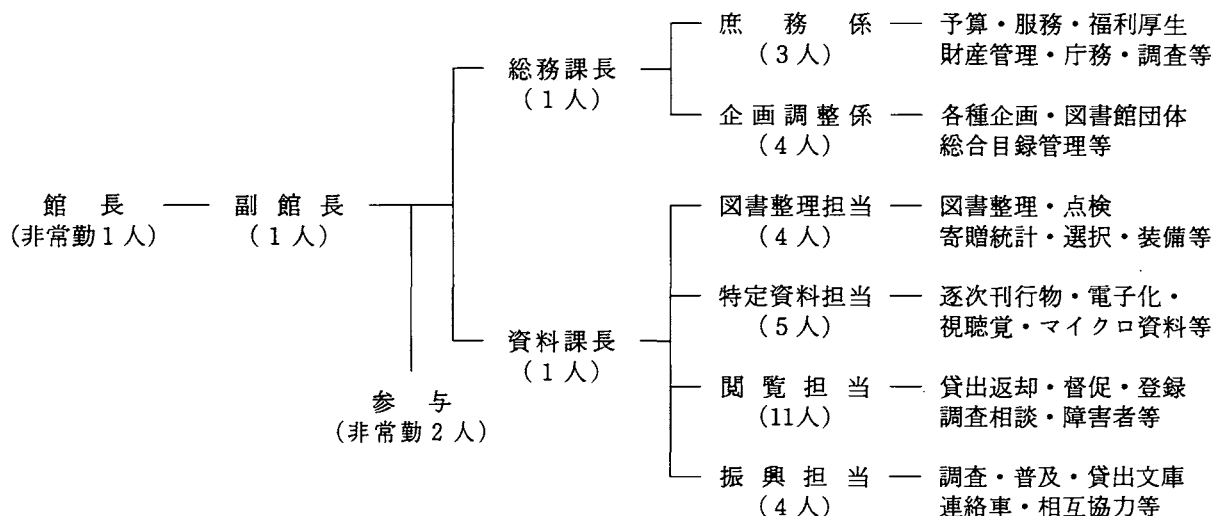
平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が公布・施行され、毎年4月23日が「子ども読書の日」と定められた。この日にあわせて、子どもたちの読書活動を推進するきっかけとなり、生涯にわたり読書に親しむ習慣が身につくことを期待し、「子ども読書絵てがみコンテスト」を京都府図書館等連絡協議会との共催で実施した。4月23日には、京都文化博物館において表彰式を行い、約2週間作品を展示したほか、京都府庁をはじめ府内市町村26箇所において巡回展示を行った。

(3) 図書館・読書施設等職員研修の実施

府内図書館等職員を対象に、北部は5月26・27日、中部は6月23日、南部は9月28日に研修会を開催し、「図書の修理・製本について（初級）の実技講習」をテーマに、藤原 孝氏を講師に招き、綴針と麻糸を用いて本の綴じ方等の講習や出席者が持参した破損図書の修理を実践した。また、交流協議を行い職員相互の交流を図った。

VI 組織及び職員数（18年4月1日現在）

常勤職員34人，非常勤職員11人（館長1人・参与2人・再任用2人・嘱託6人）



VII 経 費

(単位：千円)

科 目	事 項	金 額	
図 書 館 費	人 件 費	322,788	
	資 料 費	図 書	45,060
		逐次刊行物	4,940
		計	50,000
	そ の 他	187,225	
	計	560,013	
事 務 局 費	人 件 費	809	
	そ の 他	8	
	計	817	
合 計		560,830	

VIII 施設の概要等

所在地等	〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町9番地 TEL 075-762-4655 FAX 075-762-4653 ホームページ http://www.library.pref.kyoto.jp
開 館	平成13年5月11日(建替による開館、府立図書館設置は明治31年)
主たる構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
階 数	地上4階地下2階
敷地面積	3,740㎡
延床面積	7,478㎡ (地下2階2,296㎡、地下1階2,049㎡、1階1,129㎡) (2階746㎡、3階701㎡、4階557㎡)
建築費	617,415万円(外構工事・設備・家具等を含む)
利用者用端末	OPAC20台、CD-ROM閲覧端末8台、外部データベース閲覧端末6台、インターネット閲覧端末19台、貴重書データベース閲覧端末2台、ビデオブース8台、オーディオブース3台
一般開架	1,710㎡。10万冊の開架が可能
書 庫	1,776㎡。自動化書庫内の10,509個のコンテナに約40万冊の図書収蔵が可能。閉架書庫内の集密書庫は大半が積層であり、28,284棚に約100万冊の図書収蔵が可能
開館時間	火曜日～土曜日 午前9時30分～午後7時 日曜日 午前9時30分～午後5時
休 館 日	<ul style="list-style-type: none"> ・月曜日(国民の祝日に関する法律に規定する休日と重なる場合は、その翌日) ・毎月第4木曜日 ・国民の祝日に関する法律に規定する休日 ・年末年始(12月28日～翌年1月4日) ・特別整理期間

IX 沿 革

- 明治31年(1898) 4月 府立京都図書館御苑内創立
館長 三宅五郎三郎就任
- 〃 6月 業務開始
- 33年(1900) 夜間開館開始
館長 原田千之助異動、中道貫一館長就任
- 36年(1903)10月 巡回図書館(貸出文庫)制度開始
- 37年(1904) 3月 湯浅吉郎館長就任
- 38年(1905) 4月 児童室開設
- 39年(1906) 6月 館外貸与規則制定告示
- 〃 11月 新館起工式
- 42年(1909) 2月 新館竣工
- 〃 3月 京都府立京都図書館規則告示
- 〃 4月 新館開館
- 大正5年(1916) 5月 湯浅吉郎館長退職
- 〃 10月 北畠貞顕館長就任
- 8年(1919) 1月 本館図書分類目録編纂に着手
- 11年(1922) 4月 貸出文庫を増設
- 14年(1925) 3月 児童室閉鎖
- 昭和3年(1928) 3月 帯出規程告示
- 〃 4月 個人貸出実施
- 〃 6月 和漢図書分類目録 分類表12冊作製
- 8年(1933)10月 京都府中央図書館に指定
- 15年(1940)11月 北畠貞顕館長退職 内藤乾吉館長就任
- 16年(1941) 5月 児童室復活開室
- 22年(1947) 7月 内藤乾吉館長退職 西村精一館長就任
- 〃 8月 館外貸出廃止
- 23年(1948) 4月 児童室を元貴賓室に移転
- 〃 9月 読書ルーム開設(河原町丸善京都店地下)
- 24年(1949) 4月 読書相談開始
- 〃 6月 河原町分館開館(河原町丸善京都店地下)
- 25年(1950) 2月 伏見分館開館(伏見信用金庫2階)
- 〃 3月 巡回図書館(貸出文庫)廃止
- 〃 6月 宮津地方分館開館(宮津町役場内)

- 昭和25年(1950) 7月 綾部地方分館(綾部市立図書館内)及び
峰山地方分館(丹後地方教育局内)開館
- 〃 8月 学生自由閲覧室新設
- 〃 11月 京都府立図書館設置条例公布(条例第62号)
- 26年(1951) 4月 上京分館開館(北区紫郊会館内)
- 〃 9月 本館大閲覧室屋根修理着工 休館
- 〃 10月 本館蔵書一部知恩院倉庫に別置
- 〃 11月 本館大閲覧室安全開架式を実施
- 〃 12月 本館新体制で開館
- 27年(1952) 6月 本館読書相談係設置
- 〃 7月 園部地方分館(園部町立図書館内)
北桑田地方分館(京北町下中)及び
木津地方分館(旧役場内)開館
- 28年(1953) 4月 宮津地方分館移転(宮津市立図書館内)
本館 月曜日休館を実施
- 29年(1954) 2月 伏見分館新築工事着工
- 〃 7月 木津地方分館移転(木津小学校内)
伏見分館庁舎竣工移転
- 〃 9月 京都府立図書館「善本目録」作製
- 30年(1955) 6月 峰山地方分館移転(丹波公民館内)
- 〃 9月 青年学級文庫実施
- 31年(1956) 5月 上京分館移転(桜谷文庫内)
- 〃 9月 河原町分館閉館
- 32年(1957) 6月 中京分館(河原町分館改称)開館(烏丸庁舎内)
- 〃 10月 宮津地方分館移転(労働セツルメント内)
- 35年(1960)10月 中京分館館外貸出実施
- 37年(1962) 9月 峰山地方分館移転(丹波小学校内)
- 38年(1963) 3月 本館読書相談係・学生自由閲覧室・貸出文庫閉鎖
蔵書の一部を府立総合資料館へ移管
- 〃 5月 木津地方分館移転(町民センター内)
- 〃 7月 綾部地方分館移転(市民センター内)
- 〃 10月 西村精一館長転出(京都府立総合資料館長へ)
相馬利雄館長就任
- 〃 11月 本館 日曜・土曜午後・夜間を休館
- 〃 12月 児童室 土・日曜休室

- 昭和39年(1964) 1月 本館外装改修工事
- 〃 5月 本館夜間・土曜午後再開(9時まで) 貸出室設置
児童室館外貸出実施 土曜日開室
宮津地方分館移転(宮津市立図書館内)
伏見分館館外貸出実施
- 〃 7月 市内分館 日曜日休館を実施
- 40年(1965) 1月 中京分館仮移転(京一商同窓会館)
- 〃 7月 児童室に母親文庫設置
- 〃 9月 府教育委員会基本規則一部改正
教育庁係等設置規程一部改正により図書館に課制実施
- 〃 11月 中京分館移転(京都府中京庁舎内)
- 41年(1966) 9月 綾部地方分館閉館
- 〃 11月 園部地方分館閉館
自動車文庫命名式(蜷川知事「あゆみ号」と命名)移動図書館事業開始
- 42年(1967) 7月 本館修繕工事
- 〃 9月 貸出室移転再開
- 44年(1969)12月 本館夜間閉館時間(7時)に変更
- 45年(1970) 8月 相馬利雄館長退職、荒尾利就館長事務取扱就任・転出
岩崎彰之助館長就任
- 46年(1971) 8月 宮津地方分館新宮津市立図書館内に移転
本館貸出室の図書を閲覧室に統合 第2閲覧室開室 貸出方式をブラウ
ン方式に切替
- 47年(1972) 4月 岩崎彰之助館長転出 吉川博明館長就任
- 〃 11月 自動車文庫「あゆみ号」の更新
- 48年(1973) 4月 上京分館館外貸出実施
- 〃 6月 吉川博明館長転出 庄林二三雄館長就任
- 49年(1974) 4月 庄林二三雄館長退職 宮本英男館長就任
- 50年(1975) 3月 木津地方分館閉館
身体障害者用 便所・スロープ新設
宮本英男館長退職
- 〃 4月 布村忠雄館長就任
- 〃 5月 本館(閲覧室・中央カウンター・新聞雑誌室開設)内装工事
本館閲覧室を完全開架式に切替
- 51年(1976) 4月 本館閲覧用目録作成に着手
- 〃 5月 上京分館閉館(51.5.8)

- 昭和51年(1976) 6月 京都府図書館等連絡協議会発足、府立図書館に事務局を置く
 “ 7月 児童室改修工事
- 53年(1978) 3月 本館改修工事(外装・屋根葺替・玄関・防災設備)
 本館閲覧用目録整備完了
- 54年(1979) 3月 本館書庫の改修工事
 “ 4月 国会図書館からの図書貸出制度発足
 本館自習室を閉鎖
 “ 7月 本館・伏見分館の冷暖房工事完了
 “ 8月 北桑田地方分館仮移転(京北農業協同組合弓削支所内)
 “ 11月 自動車文庫「あゆみ号」の更新
 「専門情報機関要覧」刊行
- 55年(1980) 3月 北桑田地方分館閉館(55. 3. 31)
 “ 4月 布村忠雄館長転出 長谷川啓司館長就任
 峰山地方分館移転(峰山町中央公民館内)
- 56年(1981) 4月 長谷川啓司館長転出 浜辺一彦館長就任
 “ 9月 移動図書館用電動集密書架設置
 “ 12月 伏見分館改修工事
- 57年(1982) 4月 伏見分館宿日直を廃止し警備会社に委託
 “ 7月 障害者サービス(対面朗読)実施
- 58年(1983) 2月 生涯教育推進事業として読書推進講座実施
 “ 3月 「京都府の公共図書館」刊行
 伏見分館 ブックポスト設置
 “ 6月 図書館協力貸出本格実施
 “ 7月 新着図書案内発行
- 59年(1984)12月 連絡協力車試験的運行開始(2コース)
- 60年(1985) 7月 国立国会図書館とのオンライン利用実験実施
- 61年(1986) 8月 京都府教育委員会教育長から「生涯学習社会を展望する京都府の図書館
 のあり方」を京都府社会教育委員会議へ諮問
 “ 12月 昭和61年度全国公共図書館参考事務研究集会開催
 12月4日～5日 会場 京都堀川会館
- 62年(1987)10月 国立国会図書館とオンライン実施
 伏見分館サービス終了(62.10.31) 伏見分館閉館(63. 3. 31)
- 63年(1988) 3月 「京都府の公共図書館 1987年版」刊行
- 平成元年(1989) 7月 浜辺一彦館長死去、上田将館長就任(本庁指導部長兼任)
 “ 9月 上田将館長退任、林芳男館長就任

- 平成元年(1989)10月 図書館資料広域貸出事業開始
- 〃 〃 「京都府公共図書館等所蔵 雑誌・新聞総合目録」京都府図書館等連絡協議会と共同刊行
- 2年(1990)3月 京都華頂ライオネスクラブから公用車(ステーションワゴン)の寄贈
- 〃 〃 「点字・録音図書目録(点字版)」刊行
- 〃 4月 連絡協力車事業本格実施
- 〃 6月 機構改革により本館は4課組織に
- 〃 12月 移動図書館事業終了
- 3年(1991)3月 本館模様替内装工事(受付カウンター・新聞雑誌室・休憩室・ロッカー室・点字コーナー配置換)
- 〃 4月 ロッカーを自主管理方式に
- 〃 6月 マイクロリーダプリンターのサービス開始
- 〃 8月 「連絡協力車だより」発刊
- 4年(1992)4月 林芳男館長退任、柴田實館長就任
- 〃 9月 毎月第2土曜日 児童室 午前9時半から開室開始
- 5年(1993)3月 「京都府の公共図書館 1992年版」刊行
- 6年(1994)3月 「京都府公共図書館等所蔵 雑誌・新聞総合目録」京都府図書館等連絡協議会、京都府立総合資料館と共同刊行
- 〃 5月 柴田 實 館長退任
- 〃 6月 高木多喜男館長就任
- 7年(1995)2月 阪神・淡路大震災(1月17日)による本館一部被害の補修・補強工事実施
- 〃 5月 本館老朽化による安全対策のため館内模様替え(事務室の1階への移動等)実施。5月1日から2ヵ月間臨時休館(7月3日再開館)
- 〃 8月 連絡協力車北部コース月2回に運行を拡充。これにより府内全ての市町村へ月2回運行となる
- 〃 9月 一般図書室の天井一部損傷による補修工事実施。9月18日から臨時休館(10月16日再開館)
- 〃 12月 京都府社会教育委員会議が、京都府教育委員会教育長に「生涯学習社会を展望する京都府の図書館の在り方について(提言)」を提出する
- 8年(1996)3月 平成8年度当初予算に府立図書館整備費を計上
- 〃 〃 高木多喜男館長退任
- 〃 4月 五十嵐一郎館長就任
- 〃 9月 新府立図書館建設基本計画の概要を発表
- 〃 〃 9月補正予算に文化財的観点から壁面(東側前面)を保存しながら、新

- 築整備するための基本設計費、現存建物記録調査費及び壁面保存の構造診断調査費等を計上
- 平成9年(1997)3月 平成9年度当初予算に実施設計費、補強設計費、補強工事費、情報ネットワークシステム詳細設計費、蔵書データ電算入力費、埋文調査費、解体設計費・解体工事費等を計上
- 〃 〃 宮津・峰山地方分館の閉館(9.3.31)
- 〃 4月 新館整備のため本館を休館(9.4.1～)
- 〃 9月 本館 仮施設(京都市下京区、旧中小企業総合指導所)へ移転完了
- 10年(1998)3月 府立図書館解体工事及び壁面(東側前面)保存工事完了
- 〃 〃 平成10年度当初予算に、新館建設工事費、情報ネットワーク整備費、図書資料整備費、埋文調査費等を計上
- 〃 〃 五十嵐一郎館長退任
- 〃 4月 西山隆史館長就任(本庁指導部長兼任)
- 〃 5月 西山隆史館長退任
- 〃 6月 小山雄一館長就任
- 〃 7月 総合資料館蔵書との一体的データ化作業のため、図書館職員3名を併任発令
- 〃 9月 本館事務室の再移転(旧中小企業総合指導所から隣接の旧女子高等技術専門学校へ)
- 〃 11月 新府立図書館新築工事起工式
- 11年(1999)2月 平成10年度近畿地区公共図書館研修の開催(主催:文部省、京都府教育委員会他)
- 2月15日～2月19日 会場:京都府総合教育センター
- 〃 3月 平成11年度当初予算に新築工事費、情報ネットワーク整備費、図書資料整備費等を計上
- 〃 6月 「日本目録規則1987年版改訂版」「日本十進分類法新訂9版」「日本著者記号表改訂版」を採用
- 12年(2000)3月 平成12年度当初予算に新築工事費、情報ネットワーク整備費、図書資料整備費、備品整備費等を計上
- 〃 5月 国立国会図書館総合目録ネットワークに参加
- 〃 10月 新館竣工
- 〃 11月 仮施設から新館に移転、開館準備作業本格化
- 〃 〃 「京都府図書館総合目録ネットワーク運営規程」を施行(1日)
- 13年(2001)2月 仮施設及び府立総合資料館からの図書資料移転終了
- 〃 3月 中京分館閉館

- 平成13年(2001) 3月 小山雄一館長退任
- 〃 4月 中里隆憲館長就任
- 〃 〃 府教育委員会基本規則を一部改正して図書館の職を整備し、教育庁係等設置規程を一部改正して2課制(総務課：2係、資料課：4担当)を施行(1日)
- 〃 〃 「京都府立図書館の管理運営に関する規則」(平成13年京都府教育委員会規則第1号)を施行(1日)
- 〃 5月 「京都府立図書館個人貸出規程」、「京都府立図書館対面朗読等規程」、「京都府立図書館複写取扱規程」、「京都府立図書館貴重書データベース利用等規程」、「京都府立図書館外部有料データベース利用等規程」、「京都府立図書館機関貸出規程」、「京都府立図書館貸出文庫規程」、「京都府立図書館利用規程」及び「京都府立図書館連絡協力車事業規程」を施行(7日)
- 〃 〃 開館式(10日)、一般開館(11日)
- 〃 〃 京都府図書館総合目録ネットワークのインターネット発信開始(10日)
- 〃 〃 連絡協力車の毎週運行を開始(16日)
- 〃 6月 京都府図書館総合目録ネットワーク運用開始(1日)
- 14年(2002) 4月 「子ども読書絵てがみコンテスト」を実施
- 15年(2003) 2月 館内完全分煙の実施
- 16年(2004) 3月 中里隆憲館長退任
- 〃 4月 津守俊一館長就任

事業概要 (平成17年度のまとめ)

平成18年(2006)9月発行

発行者 京都府立図書館

〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町9

TEL (075)762-4655(代)

FAX (075)762-4653

URL <http://www.library.pref.kyoto.jp>

印刷 株式会社 大気堂

TEL (075)361-2321

この冊子は再生紙を使用しています。